



No.109 2025.1 KENJIKYO

MIE



NOZAKI (無害化済)

<b>巻頭のあいさつ</b>		
四日市市長 森 智広		1
<b>年頭のあいさつ</b>		
新年のご挨拶		
会長 相原 清安		2
<b>建築士事務所キャンペーン</b>		
<b>出前講座</b>		
三重県立伊勢工業高等学校		3
三重県立津工業高等学校		4
<b>タウンウォッチング</b>		
津市立豊津小学校		5
<b>支部ひろば</b>		
桑名支部		6
四日市支部		6
津支部		7
松阪支部		7
<b>事務所紹介</b>		
住まいと暮らしの設計室（ノッティーハウスリビング）		8
いなもり建築設計		8
地主建築設計事務所		9
株式会社富士建設 富士一級建築士設計事務所		9
<b>休憩室</b>		
一言では語り尽くせない2CVの魅力 津支部 前川 忠則		10
和紙作りってほんっとに大変なんです。 松阪支部 田中 宏樹		10
<b>委員会報告</b>		
指導運営委員会		11
<b>目安箱</b>		
人口減少からみた建築		
伊勢支部 猿木 崇之		12
高齢化社会		
桑名支部 伊藤 茂		12
人材不足の現状を考える		
伊賀支部 中村 明良		13
人口減少対策に協会も取り組もう		
志摩支部 木下 悟		13
<b>新入紹介</b>		
山三設計工務一級建築士事務所		
Slinc 設計事務所		14
<b>視点・論点</b>		
今後新たな古民家のリノベーションはどうなるのか		
広報・渉外委員会 副委員長 前川 忠則		15
<b>広告</b>		



## 巻頭のごあいさつ

四日市市長 森 智広

三重県建築士事務所協会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から本市をはじめ県内の住宅、建築行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大規模地震の可能性が叫ばれるなか、本市では、被災時の対応や復旧に必要な道路、被災後すぐに必要となる上下水道施設や、多くの人を訪れる施設などの社会インフラの耐震化を進めております。また、激甚化する豪雨災害などの自然災害が頻発するなか、市民の皆様の防災意識を一層高めていくため、防災・減災に関わる情報を的確かつ迅速に発信するなど更なる啓発に努め、災害に強く、災害対応力に優れたまちづくりを目指し取り組んでいるところであります。

住宅・建築物に関しましては、昨年1月に発生した能登半島地震による木造住宅の甚大な被害状況から、本市では、令和6年度から木造住宅における耐震化への支援制度を大幅に拡充し、補助金額の増額や段階的・部分的な改修に対する支援制度の新設などを行い、市民の皆様が早期に耐震化に取り組んでいただくよう、より一層の耐震化の促進に取り組んでおります。

また、近年の少子高齢化の進行による人口減少や、建築物の老朽化、社会的ニーズの変化などに伴い空き家が増加し続けており、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など、多岐にわたり周辺環境に悪影響を及ぼすものが社会問題となっております。このため、管理が行き届いていない空き家の所有者に対し、法や条例に基づく適切な管理を促す助言・指導や、空き家の有効活用を促す取り組みを進めているところであります。

これらの取り組みには、貴協会並びに会員の皆様の地域に根付いた視点と、高度な専門的知見が必要不可欠であることから、今後も様々な場面での更なる連携とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のさらなるご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

一般社団法人 三重県建築士事務所協会

会長 相原 清安

令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員各位におかれましては、新年を健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃は、当協会の運営に会員・賛助会員・役員の皆様方の多大なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、併せて心より厚くお礼申し上げます。

デジタル技術の飛躍的な進展により、コミュニケーションの方法は多様化していますが、「不寛容社会」と評される時代背景の中で、先行きが不透明で正解のない世界において、未来を、共に創っていくためには、立場が違ふと考え方も違ふように、現場感・温度感を持った皆さんとの直接の意見交換、対面での議論に勝るものはないと実感しています。

皆さんには、対面する人や業界パートナーと信頼関係を構築し、会話から得られる小さな変化やヒントを見逃さないで、時代の一步先を目指すため、市場動向を察知する目利き力と、それを事業につなげる構想力を共に培って頂きたいと思えます。信用確立の基本は、人と人の信頼関係の構築、相互支援の努力の積み重ねです。それを実践するには face to face のコミュニケーションに勝るものはないと思っています。

既存事業の改革や新規事業の育成を企図するとき、何を指すのか、どのように業界を変えていくのか、また社会に対して価値や変革を如何に持続的に進めるか、長期的な視点を持って深く広く思考し、基本構想を固める事が第一と思っています。

今後、益々個人主義への傾向が加速し、不確実性が高く変化の激しい世になると思っています。

この時こそ、新しい考え・方策を組み立てていき、目の前の変化に惑わされることなく、将来を見据え長期的な視点で持続可能な社会を追求することが、協会の更なる成長になると信じています。

一人一人の危機感・当事者意識・攻めの姿勢といったものが積み重なることで、大きな時代の変化がチャンスとなり、やがて次の活動の基礎となり、今後の三重会を支えていくことに「つながっていく」と確信しています。三重会で、皆様と議論し、「コミュカ 信頼 責任」をモットーにして、危機管理意識を持ちつつ自由な発想から既成概念を打開して、実力主義を目指して三重会の具体的行動につなげていきたいと考えています。

今後とも力を合わせ、変化を捉え、未来を拓く1年としていきたいと思えますので、皆さまのより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年も会員・賛助会員各位がご健康で、益々のご活躍、ご清栄でありますように祈願いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

**2024 建築士事務所キャンペーン****出前講座 &  
タウンウォッチング**

三重県立伊勢工業高等学校

三重県立津工業高等学校

津市立豊津小学校

**出前講座**in 三重県立伊勢工業高等学校  
令和6年9月12日

広報・渉外委員会 猿木 崇之

伊勢工業高等学校建築科2年生（生徒出席者35名）を対象に、出前講座を実施しました。今回は一般社団法人三重県建築士会と合同で開催し、2限目を一般社団法人三重県建築士会、3限目を一般社団法人三重県建築士事務所協会が担当しました。

3限目の前半25分は、建築士の仕事について私が講義し、後半25分は、矩計図の書き方について広報・渉外委員会の林委員長が講義しました。建築士の仕事については、建築士と建築家の違いや、建築士の種類、仕事内容、やりがい等、パワーポイントを用いて説明しました。生徒の皆様は真剣に聞き入っていた様子で、私もやりがいを感じました。また、昔とは違い、半数近くが女子生徒であることに驚きました。

出前講座終了後に、一般社団法人三重県建築士会がアンケートを実施されました。内容を拝見させて頂いたところ、全体的には実際の建築士の話が聞けて良かったようですが、建築について我々が普段当たり前のことでも、生徒の皆様には分かりにくかった内容もあったようです。私自身も学生相手に講義するのは初めての経験で、業務を見つめ直す良い機会になりました。





# 出前講座

in 三重県立津工業高等学校  
令和6年10月1日

広報・渉外委員会 前川 忠則



津工業高等学校にて、建設工学科2年生を対象に出前講座を実施いたしました。一昨年に続き、1) 建築士の仕事（事務所協会用意の PowerPoint を使って）、2) 建築士が実際に業務にて行った事例、3) 建築士が取り組んでいる活動の3点を中心に講義することとなりました。

1 限目前半は建築士の仕事、工事監理の仕事の一例を配筋検査や金物検査など写真を交えて説明。1 限目後半から2 限目中盤まで身近なりノバージョン事例や住宅の計画を行う上での考え方・取組み方を竣工写真・模型を持ち込んで説明を行いました。

最後には自由な質問を受け付け終了となりました。

未来の地域の建築を担うであろう高校生に、僅かながらでもその成長の一助となることが出来るよう、今後もこのような活動を地道に続けて行くことが重要であると思われました。





# 参加 タウンウォッチング

in 津市立豊津小学校  
令和6年9月19日

広報・渉外委員会担当常任理事  
重住 昌宏

津市立豊津小学校から、三重さきもり倶楽部を通じて、5年生児童を対象に、地区内にあるブロック塀をタウンウォッチングしながら、専門家（建築士）同行の上で、点検したいとの要請があり、その呼びかけに応じる形で、当会山本副会長他、広報・渉外委員会の3名で参加させていただきました。

まずは、教室で、山本副会長によるブロック塀調査の基礎知識を簡単に説明するところから始まりました。

コンクリートブロック塀ってどんなものなの？

そもそも、コンクリートブロックって何だろう？

コンクリートブロックはどうやって作られているの？

塀をつくる時の、きまりごとはあるの？

といった事前説明から始まり

大地震が起きた時、コンクリートブロックは大丈夫なの？

どんな場合に危険なんだろう？



と、用意されていたコンクリートブロックや鉄筋の実物を使用しながら、丁寧に説明しました。

さて、座学を終えてから、対象児童27名が4つの班に分かれていよいよ出発です。我々建築士の他、さきもり倶楽部のボランティアの方々、学校の先生も各班1名ずつ同行します。

タブレットを片手に、気になるブロック塀を見つけては、その高さや厚みを測ったり、控え壁があるかどうかなど、興味深く調べ、時には写真撮影をしながらそれぞれのコースに従って歩を進めていきます。

特に、傾いている塀や狭い道沿いにある塀など、大地震が起きた時を想像しながら、予想以上にみんな熱心です。

1時間ほどのタウンウォッチングのあと、教室に戻り今度はその結果を班ごとにまとめて発表してもらいました。

豊津小学校は海沿いの小学校ということもあってか、職員室前には防災コーナーと称して関連する情報が常設展示されていたり、班ごとのまとめの時間でも津波が起こったらどう逃げるかなど、傍でみている我々も感心する場面がいくつもありました。

日毎のこうした取り組みが、大切な命を守ることに繋がっていくと信じます。

それは、我々建築士も同じことであることを再認識した貴重な1日となりました。



## 桑名支部



桑名支部は2年に一度「研修旅行」と称して、会員相互の親睦を深めると共に建築への愛着・知見を深める取組を行っています。今年度は全国大会参加を兼ねた研修旅行としました。参加した会員は2日間のバス旅行を十分に堪能致しました。また他支部の方々とも仲良くさせて頂きありがとうございました。（おとなしくしようと思いつつもつつい騒ぎすぎた事。この場を借りて深くお詫び申し上げます。）

支部活動としてはこの他、例年行事として行政懇談会・賛助会員との懇親会等々取り組んでいます。今期は若くて元気な新入会員も増え、ますますの盛り上がりを見せていきたいと思っています。

## 四日市支部

四日市支部は令和6年10月30日現在30名の会員が在籍しています。

一昨年度までコロナ禍で大きな行事ができなかったため、昨年度は東京に1泊2日で研修・懇親旅行に行きました。なかなか楽しかったのですが、予算の関係で今後は二年に一度と決めました。

そのため、今年度は開催しませんでした。来年度は実行する予定です。そこでと言うわけではありませんが、今年度は福井県で開催された全国大会に、支部から6名が参加しました。

また、例会においては新工法や新製品の勉強会を開催し、会員相互の信頼や懇親を深めようとしています。

今後は会員増強に尽力して、より活発な活動ができるようにしたいと考えています。







## 津支部

令和6年10月13日（日）、津市では津まつりが開催されました。例年通り津支部もこれに参加し、建築士事務所のアピールとして、恒例のエコバッグ作りと建築相談を行いました。

昨年度まで2年続きで雨でしたが、当日は晴天に恵まれ、例年は15時頃までエコバッグ作りをするところが、配布するエコバッグが昼ごろには底をつき早々にエコバッグ提供を終了するほどでした。支部のメインイベントとして大盛況に行われました。

今年度は、定例の支部役員会・例会でエコバッグ作りの原点を話し合い試行錯誤しながら、



協会のPR活動につながるよう、エコバッグの裏面に当協会名とQRコードを印刷しました。

常日頃、賛助会員の協力を得て例会時に研修会を行うなど、津支部としての活動が会員にとって意味のあるものになるよう、お互いに協力しながら積極的に活動を行っています。

## 松阪支部



松阪支部の会員数は、現在19名となっております。例会、忘年会、勉強会などを通じ、会員相互の交流、研鑽を行っております。

7月には、三重県松阪建設事務所建築開発課様、松阪市建設部建築開発課様、松阪地区広域消防組合消防本部予防課様を講師としてお招きし、他団体である松阪建築家クラブと共に合同勉強会を開催いたしました。来年度に迎える法改正の内容把握、建築確認申請業務の円滑化及び建築知識の向上を図る事を目的としています。

また、10月には松阪商工会議所主催のなんでも相談会が開催され参加いたしました。地元地域の皆さまの一助となればと思っています。

今後も、会員の皆様と共に研鑽に努め各事業所の継続発展、そして本会の発展へと繋がるよう活動してまいります。





## ●鈴鹿支部●

住まいと暮らしの  
設計室  
(ノッティーハウスリビング)

- 所在地：〒519-1127 亀山市加太中在家8032-1
- TEL：0595-98-0678
- FAX：0595-98-0507
- 代表者：坂 英哉
- 設立：令和4年1月6月

当社は亀山市加太の地に昭和 25 年に創業した三栄林産株式会社内にある設計事務所です。

会社は建築事業、家具製作事業、製材事業などを行い、地域の木材(三重の木)を活用した家づくり、モノづくりだけでなく、多くの方に“森と木のあるライフスタイル”を提案しています。特に今後は山林、休耕田や空き家など地域にある大切な資源を活かすことで、地域の活性化も進めていきたいと思っています。



## 事務所紹介

- 所在地：〒514-0125 津市大里窪田町863-3
- TEL：0120-977-556
- FAX：059-232-0688
- 代表者：稲守 法子
- 設立：令和元年7月

## ●津支部●

いなもり  
建築設計

いなもり建築設計は、住宅改修や店舗改修をメインにしております。

弊社はお客様とのお話の時間を大切にしております。お客様のこだわりや悩みをじっくりと聞き、お客様のペースを大切に、また時に雑談の中の閃きをプランに取り入れたり、わくわくできる家づくりのご提案をしています。



また家づくりを楽しい思い出にし、家に愛着を持ってもらえるように、お客様と一緒に DIY で壁の塗り替えや床を貼るなど、お客様が工事にどんどん参加してもらえるサポートをしております。

まだ独立して日は浅いですが、諸先輩方を見習って長く続けていけるよう日々楽しみながら精進します。



- 所在地：〒519-2181 多気郡多気町相可561番地
- TEL：0598-38-3216
- FAX：0598-38-3212
- 代表者：地主 昌美
- 設立：昭和63年4月

●松阪支部●  
地主建築設計  
事務所

2社の建築設計事務所、土地家屋調査士事務所の勤務経験を経て、昭和63年4月に設立しました。

当初は、住宅設計を主に行っておりましたが、今日では、事務所、店舗、工場、福祉施設、地元多気町公共建築等まで、多様な用途の建築の設計監理を行っております。

建築主様に少しでも満足いただける建築物を実現出来るよう日々業務に取り組んでいます。



今年6月松阪市内にオープンした  
家族葬儀専用ホール



住宅型有料老人ホーム

## 事務所紹介

## ●伊勢支部●

株式会社富士建設  
富士一級  
建築士設計事務所

- 所在地：〒516-0072 伊勢市宮後2丁目10番20号
- TEL：0596-23-0161
- FAX：0596-28-0485
- 代表者：島田 祐希
- 設立：昭和44年4月

近年、世界情勢でエネルギー価格が高騰しています。今後の住宅ニーズに対応していくために、省エネ性能が高く再生エネルギー100%の自給自足の暮らしを実現し、温湿度管理ときれいな空気環境で健康的な暮らしを維持する家を提供しています。

自然災害で電力や水の供給がストップしたりする非常時でも数日間の暮らしを実現でき、住宅の資産価値の高いスマートハウスに力を入れています。





## 休憩室

～会員の趣味の紹介～

『建事協 みえ』本号では、会員の皆さんの趣味の紹介のページを設けました。会員の意外な一面を垣間見ることによって会員間の交流のきっかけとなれば幸いです。

### 一言では語り尽くせない 2CVの魅力



車好きにもいろいろありますが、最近、ずっと探していた初期型のシトロエン2CVAZを手に入れることができました。1960年製造で御年65歳になる老朽車体です。

私が24歳の時に初めて購入した車は1989年製シトロエン2CVチャールストンで、10年間・8万キロほどで手放しました。それからいくつもの車を所有しましたが、先祖帰りのような車を手に入れたわけです。近年、新車購入は半導体不足や円安の影響など購入予算が上がり、購入時期も予測できない状況ですが、一部の旧車も値上がりが続いています。以前と比べて車の買換えも不自由になってきた気がします。

そんな中でラテン旧車を好んで選択する人は、業界では変態呼ばわりされます。それでも私見ですが2CVに乗っている人たちは、みんな価値観が似ているというかシトロエンっていうフィルターを通した人間の方がとても面白いです。

シトロエンのミーティングなどに出掛けると参加者全員に「ご自身の2CVの好きなどころ、自慢できることをひとつ教えてください」と質問すると、ほぼ全員が一瞬言葉を失い、「全部が好きすぎて、ここ！とは言えないです。ひとつだなんて…」と。誰もが自分の車を心底愛していることは間違いないですが、「車自慢」をわざわざしないのも2CVオーナーらしいところ。「あなた

にとって2CVとは？」の質問には、「家族」「相棒」の答えが多数。

65年も前の車両で維持費がかかるでしょ？って周りから結構言われますが、フランス本国以外にドイツなどにパーツの供給体制が整っており、整備には思ったほど費用も時間もかかりません。私の知る限りこうした車両はVWビートル、MINI、ルノー4、フィアット500、そして2CV、この5車種の維持費はそれほどかからないようです。なんといっても当時の庶民車がベースですから。

津支部 前川 忠則

### 和紙作りってほんっとに大変なんです。

松阪支部 田中 宏樹



私は、建築設計業務の傍ら、三重県伝統工芸品「深野和紙」の製紙技術保存活動を行っています。私の生まれ育った、松阪市飯南町深野地区は安土桃山時代から紙漉きが盛んに行われ、江戸時代には九割二五〇戸が紙作りに従事しており、「紙漉きの里」でありました。

私自身、活動を始める際、「紙漉きって楽しそう、上手にできたら格好よさそう」くらいの軽い気持ちでした。しかし、そんな安易な考えはすぐさま崩れ去りました。実際の紙作りは、主に寒い冬場（農閑期）の仕事です。紙の原料となるコウゾやミツマタの刈取りから始まり、原木を蒸してその皮をはぎ、冬の冷たい川や湧き水にさらしてアク抜きをしたあと、塵取りを行います。川全体で沸騰させ不純物を分解します。その原料を石板のせて木づち等で叩いて砕きます。この作業が本当に大変で、普段はマウスくらいいしか持たない私ですが、若いという理由で（といっても四十代半ばですが）、いつもまわってきます。この紙料とつなぎとなるネリを混ぜて、和紙の原料となります。やっと紙漉きにたどり着き、脱水した後、天日干しで完成となりますが、やはり中々難しく、いつも人生の大先輩方から熱いご指導を頂きながら、賑やかに活動しています。

一般の団体を対象とした紙漉き体験や、地元の小中学生や高校生の卒業証書づくり体験なども行っています。会員の皆様もご興味をお持ち頂けたら、是非とも紙漉き体験にお越しください。





## 指導運営委員会報告

委員長 小粥 吉美

残念ながら建築に関するトラブルは後を絶ちません。トラブルになってしまふと発注者も受注者も気持ちの面だけでなく、手間暇や費用も負担となります。解決の糸口を探して関係各方面に相談を重ねても、解決に向かわない事例が多いと感じています。

建築に関する相談に対応するため、本会ホームページの「一般の方へ」内に、建築相談窓口として、定期無料建築相談会、苦情解決相談依頼、建築物等調査依頼の各コーナーを設け、建築計画、耐震診断、リフォーム、建築物の不具合、建築士事務所の業務に対する苦情等に対応しています。

また、調査鑑定業務登録事務所を現地に派遣し、相談内容の確認や予備（事前）調査、あるいは詳しい現地調査と調査結果報告書等を作成する登録事務所の紹介も行っています。

調査鑑定業務を行う会員事務所を登録、紹介するために必要な知識や技能の習得を目的として毎年度研修会を実施し、登録事務所のスキルアップと依頼者の信頼獲得に努めています。

とは言え、トラブルにならない為の広報活動も不可欠で、一般の方向けの「注意喚起」にも注力したいと取り組んでいます。定期無料建築相談会コーナー内の「契約する前にチェックしておきたい10項目」もご確認いただきたいと思います。

指導運営委員会はこのような活動を担当しています。

### トラブルにならないようご注意ください

#### 契約する前にチェックしておきたい10項目

##### 契約する前にチェックしておきたい10項目

- 1. すぐには契約しない
- 2. 契約書はありますか
- 3. 契約書に約款（契約に際しての約束事が明示された書面）は付いていますか
- 4. 契約書に費用の内訳書（使用材料、数量、金額等明示書面）はついていますか
- 5. 仕様書（使用材料・施工方法等記載書面）はありますか
- 6. 図面（工事範囲や工事方法、使用材料等が記載された図面）はありますか
- 7. 依頼したい内容が全て記載されていますか
- 8. 工期（着手～完了引渡しの期間）は明示されていますか
- 9. 変更が発生したときの処理方法が明示されていますか
- 10. 引渡し前の発注者検査の実施と検査後の処理方法について明示されていますか

上記の10項目その他で疑問があれば、専門的知識がある第三者の関与をご検討ください  
建築に関して第三者の意見を聞きたい時は（一社）三重県建築士事務所協会に相談！  
建築相談窓口開設中



## 目 安 箱

### 人口減少からみた建築

伊勢支部 猿木 崇之

私が生まれた昭和46年は200万人の新生児が誕生しました。しかし、令和5年の出生数は72万人にとどまっています。なんと、昭和48年の209万人をピークに、近年では減少し続けているのです。このことから少子高齢化が進み、日本の人口は50年後に現在の7割程度になると推計されています。

人口減少に関する問題は今に始まったことではありません。私が成人を迎える時にも、その当時の出生数が、新成人人口の6割程度であったと、ニュース等で報道されていたことを覚えています。つまり、現在の30代前半の人口が、50代前半の人口の6割程度ということになります。このように成人人口が減少し続けて、最近、大学全入時代という言葉を目にするようになりました。35年程前は入学志願者の半数近くが不合格となり、浪人生であふれている時代でした。難易度は別として、受験戦争という言葉もあまり聞かなくなりました。少子化により大学だけではなく、高等学校、中学校、小学校に於いても合併や廃校が進んでいる状況です。

そういった背景の中、三重県では新築工事が減少傾向にあるようです。最近、伊勢の町を歩いていると、一部では再開発が進んでいますが、空き家どころか空き地が増加しているように思います。しかし、既存の建築物を用途変更し、リノベーションするといった工事も増加しているように思います。公共建築物の耐震補強工事も落ち着き、時代とともに建築工事の内容も変化していくものだと感じ

ています。

本協会に於いても少子高齢化の影響を受けるのでしょうか。伊勢支部の会員数もここ数年で3割程度減少しました。会員増強にも努めていますが、若年層が少なく困難な状況です。人口減少により、様々なことを改革する時期がきたのかもしれない。

### 高齢化社会

桑名支部 伊藤 茂

人口減少の歯止めが掛からない状況の中、高齢化社会の状況も右肩上がりです。

日々、生活をしている中ふと気が付くと周りに若い方が居ないことに気が付きます。又、東京一極型の構造は変わりなしで、地方の過疎化も歯止めが掛かりません。

私の子供の頃は、学校が終われば神社の境内で、又は、稲刈りが終わった田んぼで、友達と草野球を日が暮れるまで遊んでいた、その頃の町内の風景は、色々な人の顔が見れる光景でしたが、今は日が暮れても色々な人の顔を見ることが出来ません。

町には、自宅帰りの車で渋滞、灯りのともっていない空家、何か淋しい風景です。地方再生の時代とメディア等が言っておりますが、再生どころか衰退の進行形です。昔を懐かしく思うのは私が高齢のせいかもしれません。

さて、前置きはこのぐらいにして、本題に入ります。高齢化社会、地域の過疎化など日々業務を行う上で非常に関係してきます。高齢者のための施設の設計、住宅においては、バリアフリー化した改修設計。新築の住宅設計



は、何故か平屋の要望が多くこれも高齢化のせいかもしれませんが、コスト高において頭の痛いことです。

つい先日、お客様が、病で倒れられ設計作業が中止となりました。大事には至らなかったようですが、リハビリ入院が必要との連絡を奥様から頂き、設計は基本設計まで完了していましたが、一時中止となりました。私より三歳上の方でとても元気にされてましたが突然このようなことになるのはやはり高齢化の為でしょうか。

令和 6 年の元旦に能登半島地震が起きました。復興の兆しがないまま、追い打ちを掛けるがごとく九月に豪雨が襲い、河川の氾濫、土砂崩れ仮設住居も被害に遭いました。能登地方の高齢化、過疎化に拍車がかかるのではないかと危惧しています。

一個人の力は限られていますが、団体になれば何か出来るのではないかと感じたりもしています。まず日々の暮らしで微力ですが能登を応援していきたいと考えております。また、日々の業務でも高齢化、過疎化等の問題も前向きにとらえ、日々業務を行っていききたいと思っています。



## 人材不足の現状を考える

伊賀支部 中村 明良

伊賀支部会員は現在 16 名、20 年前は 17 名と会員数はあまり変わりはない。世代交代が進んでいる事務所もあるがひとり親方で 65 歳以上の事務所が半数程度を占める。若年層で起業する人はここ 10 年見当たらない。10 年先を考えると見通しが明るいとは言えない。若い世代で建築士を目指す人が増え伊賀支部内で起業する事を望むばかりである。

全国的に人口減少と建設業の就業者数の関係と比較してみると最近 15 年間で人口は 314 万人減 (2.5%) 建設業の就業者 76 万人減 (13.7%)

と減少率が大きいと感じる。

その中で大手建設会社は専門外の人を採用したり、初任給を UP させたり、高卒者を多く採用したり、いろいろな方法で採用人数を確保しているのにもびっくりする。未経験者を雇って管理技術者として育成する動きが増えているという事である。外国人材の受け入れも法改正をしつつ人材確保についても期待が高まる。この部分は建築雑誌を読んでの個人的な感想ですのでご容赦ください。

日本家屋の木造建築では、大工・左官等熟練を要する職業は職人の高齢化と後継者不足も問題にあると思う。私がお世話になっている人達は親子で継承している人が多く良い事だなと思う。全国的に人材不足が生じているのは間違いなく、いろいろな問題を抱えながら対応していく必要性が長く続きそうである。

現在、最も問題なのは 2025 年 4 月に全面施行を予定している改正建築基準法や改正建築物省エネ法の確認申請業務の負担が増える事である。4 号特例縮小により構造設計業務が増える。省エネ法では断熱材や設備機器の仕様を確認申請の前に確定して省エネ基準に適合する必要がある。

まずは人材不足の中、法改正への対応が急務です！



## 人口減少対策に協会も取り組もう

志摩支部 木下 悟

志摩支部地域の人口減少が加速しています。

特に私が居住している鳥羽市においては、昭和 60 年には市人口は 28,363 人でしたが、令和 6 年 9 月で 16,473 人で自然減を含み年平均約 300 人が人口流出しています。直近 5 年平均で年間 400 人が流出しています。

鳥羽市の文教施設を例にとりますと、市は



4 島の有人離島があり、昭和 60 年には市立小学校 12 校、市立中学校 5 校がありました。令和 7 年には、小学校 7 校、中学校 3 校(うち離島に 2 校)になります。教育関係の公共施設も当然減少が見込まれ、我々事務所協会の設計監理業務等も減少します。

行政は空家対策、移住定住対策等の施策を行っていますが、都市に住んでいる若い夫婦が学校もない地区に定住するとは考えられません。離島及び沿岸部は漁村集落特有の住居が混みあった形態で、狭い道、住戸間も狭少、宅地背後の山は急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、各地区の生活環境の改善について、地域事情を把握している我々事務所協会が参画をしていき、意見を出すべきではないでしょうか。

行政は都市計画の見直案の策定については大手コンサルタントに業務委託して、マス

タープラン等を作成していますが、都市計画区域外の各地区、地区の細部に渡る検討はされていないように思います。行政の担当者は漁村集落、農村集落の現状、生活様式を検討し、地区(町)計画を作り上げ、若者の定住を促進していかなければならないと思います。

人口減少は住環境の整備だけではなく、働く企業がない(出ていく)ため定住者が少なくなり、出生率の低下により人口増につながらない等、様々な要素があります。

鳥羽は交通網が発達しており、中勢地区まで 1 時間 30 分位で着き、通勤も可能です。行政等が職種紹介を行い市内に定住していく対策を取ることを期待します。

思いつくままとりとめのない記述になりましたが、各地区の人口減対策につながり、事務所協会会員増の一助になればとの思いです。

## New face

### 新 入 会 員 紹 介

#### 山三設計工務一級建築士事務所

代表者 山川 退三

住 所 〒512-1305 三重県四日市市西村町 2984

T E L 059-339-0603

F A X 059-339-0603



#### Sline設計事務所

代表者 小林 慎治

住 所 〒512-0911 三重県四日市市生桑町 48-1

T E L 059-336-6819

F A X 059-336-6819





## 視 点 ・ 論 点

## 「今後新たな古民家のリノベーションはどうなるのか」

2025年4月から住宅など木造建築物の審査が厳しくなることはすでに周知されてきている。今後、新築だけでなくリフォーム、リノベーションも相当厳しくなるのであろう。弊社では築50～130年も経た建物を大規模な改修となるリノベーションを毎年受注している。ここで重要なのは大規模な改修に該当する工事になるかどうかで、建築確認申請が必要になる場合です。築50年程度ならコンクリートでできた基礎があるので、その状態で現在の耐震基準をクリアしようと思えば何とか可能であるが、それ以前の一般的な古民家では基礎がない柱建ての建築である。柱建ての建築で現在の耐震基準をクリアしようとする、私の知る限りでは、限界耐力計算となる。これはとんでもなくハードルが高い。

現在行っている伊賀市内での「某庫裡」リノベーションでも、1) 連続基礎の無い柱建ての建築を補強基礎施工し建物土台と基礎を連結する。2.) 急勾配の階段を緩勾配の階段に変更もしくは別の場所に向け直する。3) 老朽化した外壁及びサッシを解体し筋交い補強等を行った後に外壁改修を行う。こうした設計をすることは2025年4月から始めると確認申請が必要になる。

これは大規模な修繕・模様替えに該当するからである。2025年4月からは耐震性や温熱基準に合わす必要がある。そんなことをしたら、古民家が台無しになったり、それより膨大なコストがかかる。また当時の階段は勾配がきついのでそれを改善しようとする、これも確認申請が必要になる。一般的な古民家改修は、まず最初に外壁と屋根の修繕になる。通常屋根の改修は屋根瓦だけでなく野地板が腐っていることが改修の目的であるため、この野地板の過半を取り替えると確認申請が必要。さらに外壁も以前国交省から指針が示されて、「外壁は良いがタイベックなど防水層の過半を変えると確認申請が必要」とのこと。これは大きなこと。その他にも一般的な古民家の外壁は焼杉等の木材や土壁等が多く使われており、それを改修する場合、現在の暖房する家の壁構造は通気層が必要。通気層には透湿防水層が必要なので防水層を作ると確認申請が必要になる。また2025年の改正により、改修に際して確認申請が不要とされる場合であっても、改修後の建物が構造的に安全であることが明らかでない場合は、設計段階での構造安全性の確認や必要な補強が求められる。

確認申請は現在の技術基準の価値で判断されるので、今までのように建築士が自身の工学的な判断で建物の安全性をいくら訴えても確認申請が下りることはない。このような古い建物は全て現代の基準に合致するように変更することになり、古い建物の良さはもうないと思われる。今後古民家のリノベーションを設計受注する場合は事前に建物調査と大規模修繕にあたるかどうか検討する手間が増えることが予想される。どうしたものかなと本当に考えてしまいます。

広報・渉外委員会 副委員長 前川 忠則

# HOMEFLOOR

2024-2027

クッションフロア  
+  
住宅用床材

ベット向け  
フロアなど  
多数掲載

ここちいい暮らしは、床から



2024.10.24  
NEW RELEASE

クッションフロアの具本種 "H FLOOR" から  
様々なニーズに応える住宅用の床材を加え、  
"HOME FLOOR" として生まれ変わりました。



同時発売  
手帳に持ち運べる  
コンパクトタイプ  
HOME FLOOR  
[COMPACT]  
2024-2027

お部屋のコーディネートイメージできる！  
2つのコミュニケーションサービス

最新導入  
マイ  
コミュニケーション



壁紙やカーテンと  
コーディネートが  
できる

イメージできないお部屋のイメージをお部屋の写真やお部屋の壁紙やカーテンの画像をアップロードして、お部屋のイメージを自分自身で自由にイメージすることができます。作成したイメージは保存印刷できるほか、URLを発行してシェアすることもできます。



床材AR  
シミュレーション



自分で撮った  
お部屋の写真で  
イメージできる

自分で撮ったお部屋の写真を専用アプリで撮影し、床材のイメージをARで重ねて見ることができます。お部屋のイメージを自分自身で自由にイメージすることができます。作成したイメージは保存印刷できるほか、URLを発行してシェアすることもできます。

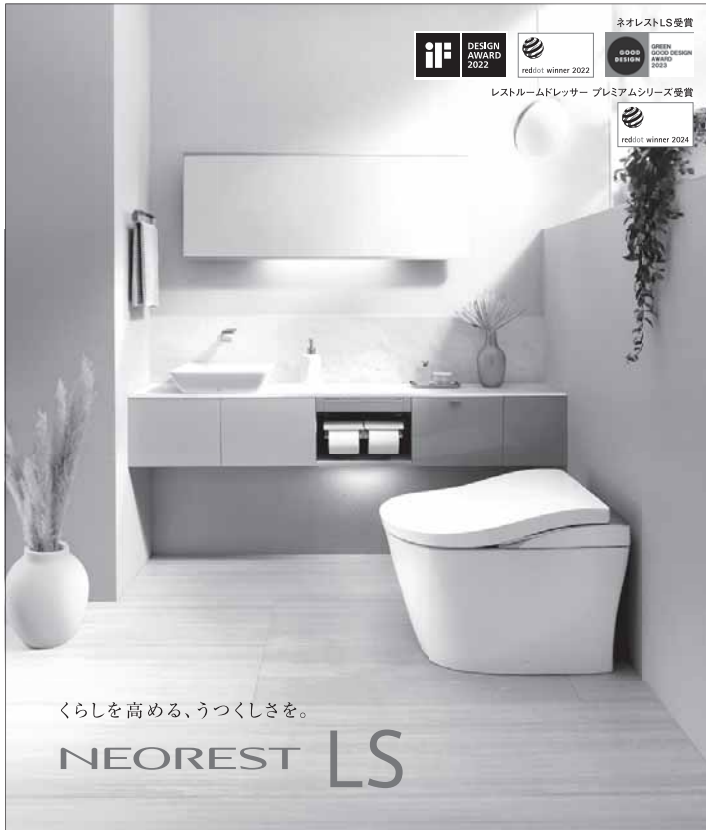
sangetsu  
Joy of Design



24-27 ホームフロア デジタルカタログへ  
株式会社サンゲツ www.sangetsu.co.jp

# LIXIL

株式会社 LIXIL 三重営業所  
〒514-0816 津市高茶屋小森上野町1109-1  
TEL:059-238-5017 FAX:059-238-5033



ネオレストLS受賞

レストルームドレッサー プレミアムシリーズ受賞

red dot winner 2024

**TOTO**

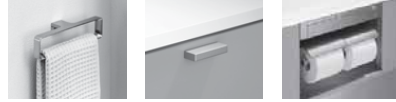
（ マテリアルカラーセレクション ）

便器のアクセントカラーとあわせて、同色の各パーツを揃えることができます。



便器に施された金属調の飾り

水栓



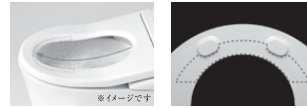
タオルリング

取っ手

リモコン&紙巻器

（ 便座きれい ）

便座裏の先端部分の汚れを、使うたびにしっかりと漂白・除菌。トイレ使用後に「きれい除菌水<sup>®</sup>」を便座裏の先端部分までふきかけ<sup>※1</sup>、汚れをしっかりと漂白・除菌<sup>※2</sup>。ふだん見えず、汚れに気づきにくい便座裏のきれいさが長持ちします。



※イメージです

※1 きれい除菌水は、汚れを抑制するもので清掃不要になるものではありません。便座裏は、先端部分にきれい除菌水のミストを噴霧します。除菌効果は実使用での実証結果ではありません。すべての箇所を掃除できるわけではありません。※2 尿ハネで汚れやすい便座裏の先端部分（便座クッションから便座開口部側の範囲）を引いて噴霧します。※3 試験機関：（一財）日本繊維製品品質技術センター 試験方法：除菌効果試験 除菌方法：電解した水道水により洗浄 対象部分：便座裏の先端部分 試験結果：99%以上（除菌効果は試験機関による実験結果であり、実使用での実証結果ではありません）すべての箇所を掃除できるわけではありません。

くらしを高める、うつくしさを。

**NEOREST LS**

TOTO株式会社 中部支社 津営業所 〒514-1113 三重県津市久居野村町420-10 営業センター 電話：052-308-4718  
TOTO技術相談室 電話：0570-01-1010 受付時間：〈平日〉9:00～18:00 〈土曜日〉9:00～17:00 〈日・祝日・夏期休暇・年末年始・当社所定の休日等を除く〉

ネオレスト

商品ページ ▶



最先端の技術と開発力で  
住宅産業・建築業界になくてはならない企業を目指す。



**ARCHITREND ZERO** 3D建築CADシステム

法改正に迅速対応！省エネ機能がさらに充実！

住宅設計支援



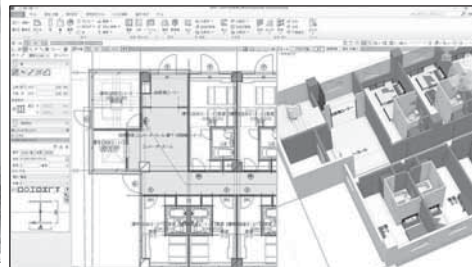
体験版DL/製品詳細/イベント情報  
お問い合わせはWEBでお気軽に！



**GLOBE Architect Construction**  
Japanese Building Information Modeling CAD System BIM建築設計・施工支援システム

日本の建築は、日本のBIMが繋ぐ

BIM設計・施工支援



体験版DL/製品詳細/イベント情報  
お問い合わせはWEBでお気軽に！



建設業の思いを創る。  
**INNOVATION for ALL.**

**福井コンピュータアーキテクト株式会社**

本社／福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋  
岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

【福井コンピュータグループ総合案内】

**0570-039-291**

福井コンピュータアーキテクト

検索

<https://archi.fukuicompu.co.jp>

# 私の選択は 間違ってた

選んだのは、合格者の50%以上が  
進んだ王道ルートでした。

総合資格学院イメージキャラクター  
令和4年度 一級建築士試験合格 当学院受講生・俳優 田中 道子さん

## 三重県も全国も1級建築士合格実績 No.1

令和5年度 1級建築士 設計製図試験

三重県合格者占有率 **52.2%**

三重県合格者合計 23名中 / 当学院当年度受講生 12名



令和5年度 1級建築士 学科+設計製図試験

全国ストレート合格者占有率 **51.8%**

全国ストレート合格者 1,075名中 / 当学院当年度受講生 557名

★学科+製図ストレート合格者とは、令和5年度1級建築士学科試験に合格し、令和5年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。  
※全国ストレート合格者数・都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の夜務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和5年12月25日現在)

三重県建築士事務所協会会員様 受講料割引あり! 詳しくは下記最寄校へお問い合わせください。



### 総合資格学院

スクールサイト [www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp) 総合資格 検索

コーポレートサイト [www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)



建設業界・資格のお役立ち情報を発信中! X ⇒「@shikaku\_sogo」 LINE ⇒「総合資格学院」 Instagram ⇒「sogoshikaku\_official」で検索!

開講講座

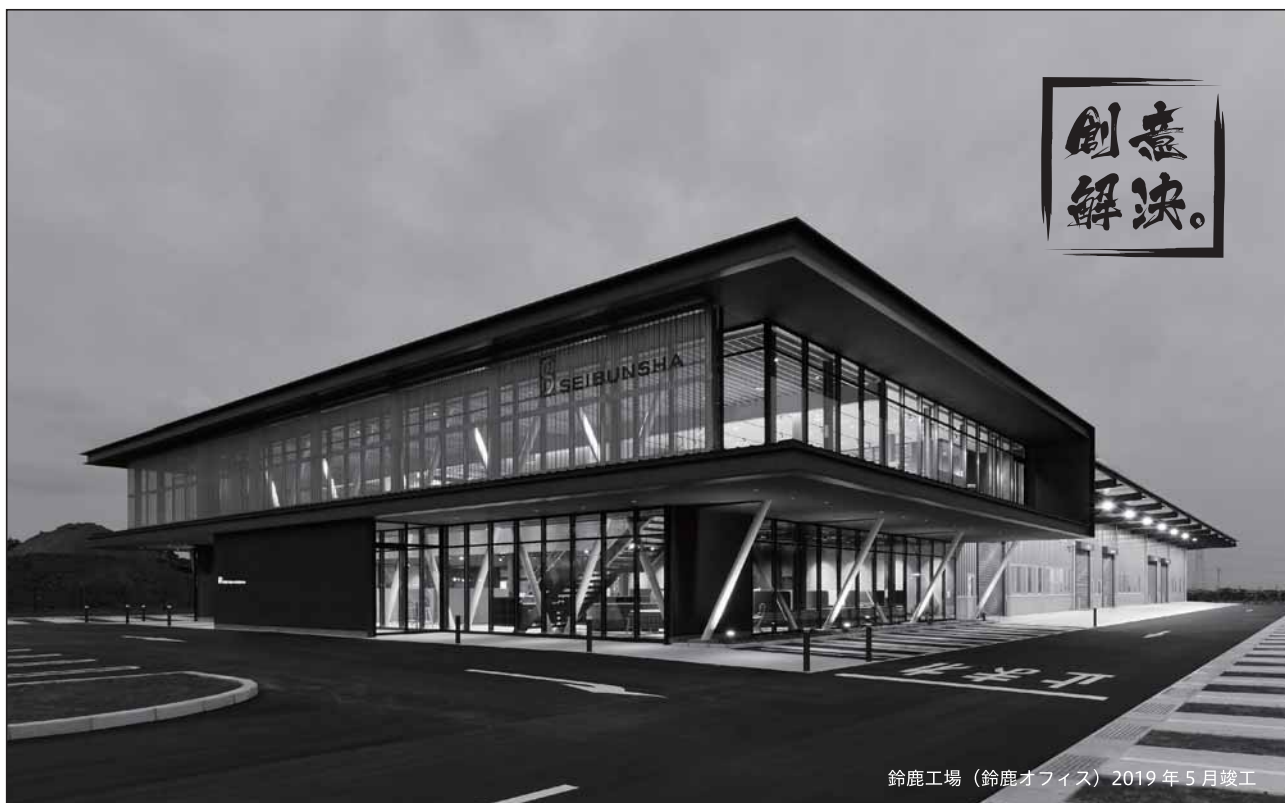
1級・2級 建築士/建築・土木・管工事施工管理技士/建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

法定講習

監理技術者講習/一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

お問合せ先

四日市校 TEL:059-359-0711  
津校 TEL:059-213-3211



創意  
解決。

鈴鹿工場 (鈴鹿オフィス) 2019年5月竣工



SEIBUNSHA



<http://www.seibunsha-net.co.jp>

住宅や建築のより大きな安心・安全のために。  
 日本ERIはリーディングカンパニーならではの  
 高い技術力と厚い信頼でお応えします。



民間会社では国内初の「指定確認検査機関」として  
 建築確認業務を開始した日本ERIは、  
 質の高い、多彩なサービスをワンストップ・サービスで  
 提供しております。

全国34拠点に広がる規模とネットワークで  
 日本全域をカバーしている弊社では、  
 三重支店にて全国各地のどんな建物にも  
 きめ細かく対応いたします。



**日本ERI株式会社**  
<https://www.j-eri.co.jp>

三重支店 〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津12F  
 TEL 059-221-6201 FAX 059-221-6202

多段式パレット保管テナー

# ワンピーステナー



製品動画



## パレット保管を自由に、効率的に！

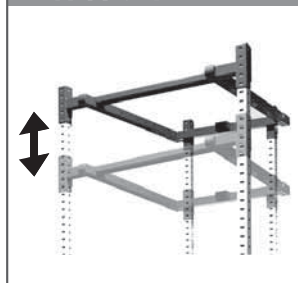
必要な時に、必要なスペースを、必要なだけ創り出します！

ハンドリフトが使える

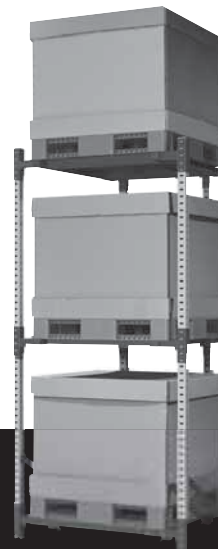
### オープンタイプ登場！



段高さを変えて  
保管効率UP！



レイアウトを変えて  
作業効率UP！



JISマーク表示制度認証取得工場

**三進金属工業株式会社**

<http://www.sanshinkinzo.co.jp>

■ 本社・工場 (大阪府)  
 ■ 福島工場 (福島県)

■ 東京支社 03-5822-7400  
 ■ 中部支社 0568-75-7811

■ 大阪支社 06-6121-7870  
 ■ 九州支社 092-925-4200



ホームページ

ラック感覚で保管  
フレキシブルタイプ

## 四日市事務所統合のお知らせ

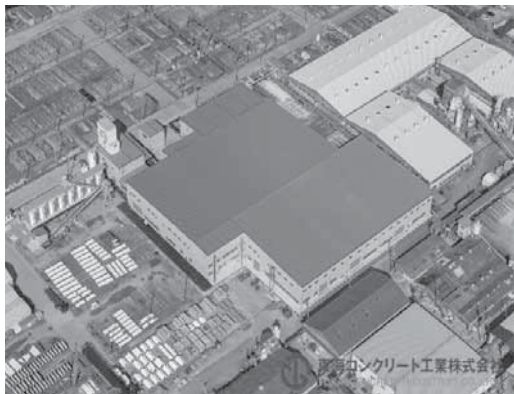
令和6年8月、殺人的な酷暑の中、弊社HPに四日市事務所の統合のお知らせを掲示いたしました。

平成28年8月に、業務区域を三重県全域に拡大するとともに、ここ四日市市に弊社四日市事務所を開設し、以来今日に至るまで、三重県建築士事務所協会の皆様には一方ならぬご愛顧をいただいております。しかし、令和7年4月に施行される建築基準法の改正に伴い、審査スキルの向上と事務処理の迅速化を目指し、本社に統合することにいたしました。

法改正に伴い、審査体制の見直しや現場検査の方法の確認など、これから準備することが多くありますが、行政の皆様のご指導をいただきながら、建築士の皆様の業務に支障がないよう努力してまいります。

これからも、ご指導、ご支援をお願い申し上げます。

株式会社 CI 東海  
代表取締役 柴田 和幸



新ホール工場  
令和5年4月より本格運営



### 【取扱商品】

- コンクリートホール・パイル
- 繊維補強コンクリート製品
- PCカーテンウォール
- 地中化商品・橋梁製品

### 【事業内容】

- コンクリートホール・パイル及びその他二次製品の生産並びに販売
- 土木建築工事の設計・施工並びに監督

## 豊かで快適な生活空間づくり



東海コンクリート工業株式会社  
TOKAI CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

代表取締役社長 石黒 幸文

URL <http://www.tcon.co.jp/>

### 【お問い合わせ先】

販売推進本部

〒451-0041 名古屋市西区幅下一丁目10-28

TEL : 052-587-2335 FAX : 052-587-2336

URL <https://www.tcon.co.jp/>

# 電子申請（Web 申請システム）サービスのご案内

いつでもどこからでもペーパーレスで構造適判審査をご依頼いただけます！



案件の進捗情報  
の共有が可能！

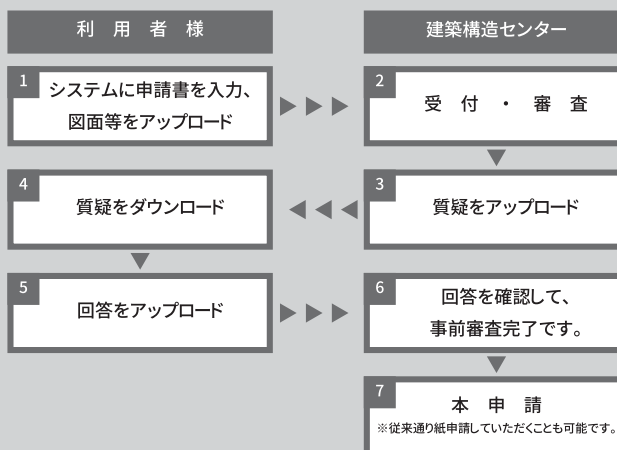


営業時間を気にせず  
申請が可能！



簡単操作  
で使いやすい！

## Web 申請システムの流れ



株式会社  
建築構造センター

三重事務所

詳しくは HP をご覧ください！



村木建材工業株式会社  
Muraki Kenzai Industry Co., Ltd.

〒514-0816  
三重県津市高茶屋小森字大新田2833番地  
TEL 059-234-2101  
FAX 059-234-8631  
URL <https://murakikenzai.co.jp>

快  
適  
か  
つ  
機  
能  
的  
な  
空  
間  
作  
り  
満  
足  
い  
た  
だ  
け  
る  
製  
品  
を  
提  
供  
す  
る  
積  
み  
重  
ね  
た  
「  
経  
験  
と  
技  
術  
」

片 引 き 窓 の 進 化 系



アイ・エス 100



かまちと枠を隠し、100mmの見込みの中にすべてを納めました。内観は凹凸の少ないフラットなデザインで、上質感と開放感を創り出しています。また、高い断熱性能、水密性能に加え、安心して快適な通風を可能にするスリム網戸を内蔵した革新的なサッシです。

ビルトイン網戸



操作方法については、QRコードより動画でご覧いただけます。



三協立山株式会社 三協アルミ社

東海ビル建材支店 / 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-3-6 NBF名古屋広小路ビル8F TEL(052)265-8149 <https://buildingsash.net/>

YODOKO

高強度折板

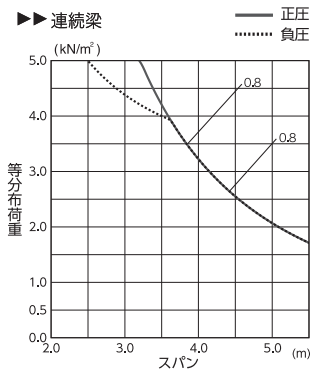
ヨドルーフ157セキユア

従来のハゼ型折板と比較し、  
断面性能 (1.3倍)、接合部強度 (2.5倍) にアップ!

■166ハゼ(従来品)と157セキユアの断面性能

	正圧		負圧	
	断面2次モーメント Ix (cm <sup>4</sup> /m)	断面係数 Zx (cm <sup>3</sup> /m)	断面2次モーメント Ix (cm <sup>4</sup> /m)	断面係数 Zx (cm <sup>3</sup> /m)
166ハゼ	500	57.8	293.7	35.3 (100)
157セキユア	395	50.1	387	47.1 (133)

※t=0.6・t=1.0については、営業所にお問い合わせ下さい。



淀川製鋼

株式会社淀川製鋼所  
中部ブロック名古屋営業所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目4番12号(アレックスビル8F)  
TEL.052-239-1259 FAX.052-239-1219



# 三和の防水商品



▲くわしくは  
こちらから



突然の集中豪雨から素早くみなさまを守ります。



浸水高さ  
3mまで  
対応!



浸水高さ3m  
水没可能

## 防水シャッター

特許  
取得

防水機能付き電動パネルシャッター。地下鉄や地下街の出入口に最適。

- 管理用シャッターとしても使用可能。
- 浸水高さ最大3mまで対応可能。
- (一財)建材試験センターの技術評価を取得。

## ミリオンガード

特許  
取得

浸水高さ490mmまで対応できる脱着式簡易アルミ防水板。

- 工事不要で簡単設置。
- 取付けたままで自動ドアの開閉が可能。

## Wタイトドア

特許  
取得

設備室や機械室の出入口に最適。浸水高さ最大3mまで対応可能。

- 防水・気密・水密性を備えた二重構造。
- 浸水高さ最大3mまで対応可能。
- (一財)建材試験センターの技術評価を取得。

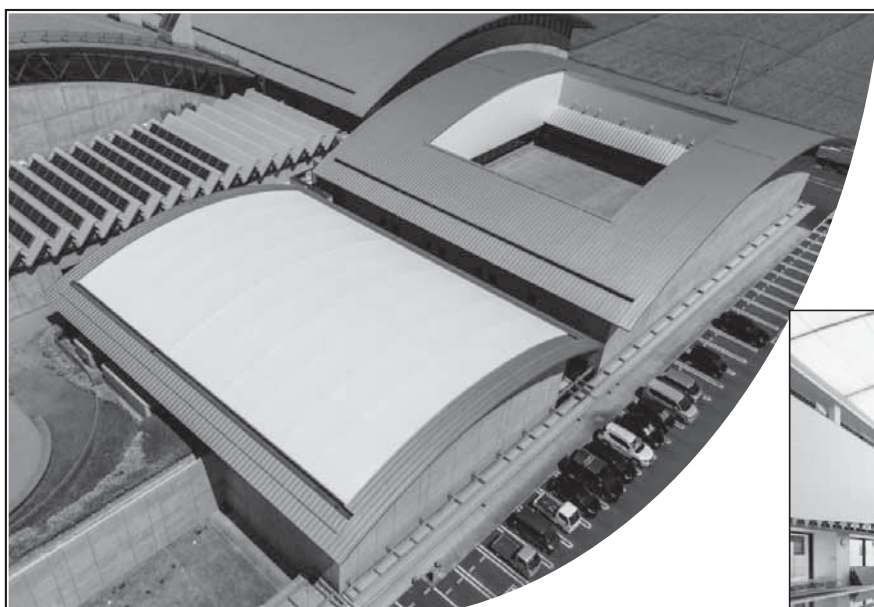
## Sタイトドア

特許  
取得

常に浸水に備える防水ドア。防水性と防火性を両立。

- 浸水高さ3mまで対応可能。
- 浸水24時間継続して防水性能有り。
- (一財)建材試験センターの技術評価を取得。

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 059-225-3011



津市産業・スポーツセンター サオリーナSAORINA



**MakMax**  
太陽工業株式会社

名古屋支店 名古屋市中村区名駅南2-8-11  
東京本社 東京都世田谷区池尻2-33-16  
大阪本社 大阪市淀川区木川東4-8-4  
仙台・広島・福岡

tel : 052-541-5120  
tel : 03-3714-3461  
tel : 06-6306-3078



www.taiyokogyo.co.jp



〔商業施設〕



〔オフィス〕



〔医療施設〕

## DAIKEN とつくる公共・商業施設

街を彩る、公共・商業施設。学校・幼稚園や高齢者施設、ホテルやオフィスなど  
用途も集う人々も違う公共空間が街をつくっています。

DAIKENは、住宅分野で培った多彩なノウハウと実績で、様々な施設ごとの、快適な空間づくりに貢献していきます。

施設設計に役立つプロ向け情報サイト



細部(ディテール)にこだわる  
建築・設計ご担当者様に  
寄り添うサイトを目指してリニューアル!

業界のお役立ち情報



事業主様におき、  
役立ち情報を無料で入手できる

業務効率化ができる



カタログ、サンプル、CADデータ、  
認定書などの資料で簡単に入手できる

POINT 1

製品の名称や品番はもちろん、  
サイズや仕様、色柄でも検索できる!



POINT 2

製品仕様を横並びで確認できる  
「比較形式表示」にも対応!



POINT 3

製品ごとの関連データを  
まとめて確認・取得できる!



# 無料登録受付中!

2分でカンタンにご登録いただけます。

こちらから ▶



大建工業株式会社 中京支店 三重営業所

〒514-1245 三重県津市森町1945-3 (三重工場内)

TEL: 059-253-4141

<https://www.daiken.jp>

## NH PILE

環境にやさしい

# 「高支持力杭設計」を実現!!

様々な条件に対応できる、豊富なバリエーション

経済的な設計を達成する、より強固な高支持力杭



**ハイビーエム(H・B・M)工法**  
〈プレボーリング拡大根固め工法〉



**ハイエフビー(HiFB II)工法**  
〈プレボーリング拡大根固め工法〉



**New-STJ工法**  
**New-STJ-II工法**  
〈中掘り拡大根固め工法〉

**NIPPON HUME**  
日本ヒューム株式会社

本社 〒105-0004  
東京都港区新橋5丁目33番11号  
TEL:(03)3433-4111(大代)  
FAX:(03)3434-2320  
<http://www.nipponhume.co.jp>  
支社 北海道 関東・東北 東海 関西 九州



DECO FRAME

## 小松ウオール

本社 / 石川県小松市工業団地1-72 TEL : (0761)21-3131 (代)  
三重支店 / 三重県津市栄町3-143-1 TEL : (059)253-4811 (代)

製品詳細は  
こちらから▶



## 石綿(アスベスト)のことは



ECOLOGY & SCIENCE

株式会社 東海テクノ

<https://www.tokai-techno.co.jp>

にお任せください

- 事前調査
- 石綿採取
- 石綿分析
- 各種相談

お問合せ先

環境事業部 営業Gr/業務管理Gr

〒510-0023 三重県四日市市午起1-2-15

TEL : 059-340-7767

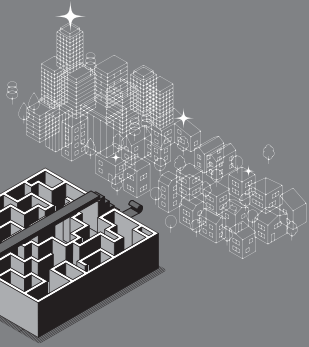
松阪分析センター

〒515-0014 三重県松阪市若葉町92-1

TEL : 0598-51-9490

e-mail : [support-g@tokai-techno.co.jp](mailto:support-g@tokai-techno.co.jp)





夢を支えて、  
建設業界の未来へ

おかげさまで  
**55<sup>th</sup>**  
since 1969

夢までの遠回りはさせない!

**日建学院**

ニニゼー!

資料請求・各種お問合せは  
最寄校へお気軽にどうぞ!

**四日市校**

**☎059-349-0005**

〒510-0885 三重県四日市市日永三丁目2-30

**津校**

**☎059-291-6030**

〒514-0034 三重県津市南丸之内8-61

## 編集のあとがき

会誌「建事協みえ」は、各委員会の活動の状況、各支部・会員の活動状況を報告して頂き、会誌に掲載しています。事務所協会の活動を身近に感じていただければ幸いです。会誌に寄稿いただいた方々をはじめ、発行に協力いただいた多くの方々にお礼を申し上げます。

広報・渉外委員会では、伊勢工業高校と津工業高校に出前講座を開催しました。

また、津の豊津小学校に通学路のブロック塀の調査を児童と共に行いました。

これからも会誌「建事協みえ」が会員の皆様の親睦、情報交換の場として役立つように取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも指導、ご協力をお願いします。

広報・渉外委員会 委員長 林 満

---

### 広報・渉外委員会

担当常任理事	重住 昌宏
委員長	林 満
副委員長	前川 忠則
委員	植松 顯哉
委員	猿木 崇之

---

KENJIKYOMIE

No.109

令和7年1月発行

発行人 相原 清安  
編集 広報・渉外委員会  
発行所 一般社団法人 三重県建築士事務所協会  
〒514-0037 三重県津市東古河町8番17号  
システックビル4階  
TEL059-226-4416  
FAX059-224-9297  
<http://www.sekkei-mie.jp>

---



KAMURI



NOMATSU



MITAKE



NOZAKI